

平成24年度事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

I 概要

えひめ産業振興財団では、本県経済の発展に資するよう、新事業の創出及び高度な技術の研究開発等を支援するとともに、中小企業の経営基盤の強化、IT導入による情報化促進等に積極的に取り組んでいるところである。

平成24年度においては、新たな事業活動を支援する体制の中核的機関として、ビジネスサポートオフィスを中心に、起業家精神に富んだ創業者や新事業分野へ進出する企業に対して、新事業の研究から、商品開発や販路開拓、事業化のための金融機関からの融資等に至るまで、各段階に応じたきめ細かな支援施策を実施するとともに、他の産業支援機関等との密接な連携・補完体制のもと、「チームえびす」を構成し、一体的かつ重層的な支援機能の高度化を図り、さらには、平成25年3月21日付けで「中小企業経営力強化支援法」に基づく経営革新等支援機関の認定を受けるなど、中小企業者等の経営課題解決、経営支援強化を積極的に行った。

また、総額100億円に拡充組成した「えひめ中小企業応援ファンド」により、地域資源の活用や地域のニーズに対応したビジネスの創出支援に努めるとともに、本県産業の高付加価値化、高度化を図るため、中小企業の技術開発、新事業の展開等を支援するなど、次代を担う新産業の育成に取り組んだほか、農林漁業者と中小企業者の連携強化による地域経済の活性化を図るため、25億円の「えひめ農商工連携ファンド」を活用した助成事業等を実施した。

一方、産学官連携促進についても、国の競争的資金を獲得して、大学・公設試等の関係機関と共同研究体を組織し、新製品開発・事業化に向けた技術シーズの実用化研究を行う戦略的基盤技術高度化支援事業、並びに今年度から新たに「持続可能なえひめ水産イノベーションシステムの構築」を推進する地域イノベーション戦略支援事業等に取り組んだ。

下請企業振興事業では、幅広い受発注情報の収集提供や広域商談会を開催する等、県内下請中小企業の受注の安定的な確保と、新規取引先の獲得、自立化の促進を図った。

企業の情報化支援では、中小企業支援センター情報ネットワークの管理運営を通じ各種産業情報等の提供を行うとともに、IT人材育成研修やIT利活用支援セミナーの開催、eラーニングサービスの提供などにより、中小企業のIT利活用を促進した。

また、テクノプラザ愛媛及び愛媛県産業情報センターの管理運営主体（指定管理者）として施設・設備の適正管理及びその利用の促進を図った。

なお、財団が定款第4条に基づき平成24年度に実施した事業の概要は、次頁以降のとおりである。

II 事業報告

1 (公1) 公益目的事業

< A : 新規事業創出支援事業 >

1. 1 新事業総合支援事業 (県補助事業)

【予算額 : 44,062 千円】【決算額 : 43,342 千円】

創業や経営革新による新事業の創出を促進するため、創業・経営基盤強化支援体制を構築し、総合的な支援を行った。

(1) 支援体制整備事業

① 相談窓口 (ビジネスサポートオフィス) における支援

新商品開発や新事業創出に取り組む個人や企業からの相談に対応するため、「ビジネスサポートオフィス」(BSO)に、プロジェクトマネージャー1名、サブマネージャー1名、研究員2名等を配置し、2,292件の相談に対応した。

[相談件数]

相談内容	計
経営全般	406
マーケティング	641
資金	163
法律	32
技術	65
ビジネスプラン	392
I T	180
会社設立	35
事業連携	151
特許	16
その他	211
計	2,292

(参考) 平成23年度 1,509件
平成22年度 1,939件
平成21年度 2,402件
平成20年度 2,224件
平成19年度 1,726件
平成18年度 1,815件
平成17年度 1,693件

② 県内支援機関ネットワークの形成

えひめビジネスサポートネットワーク (チームえびす) では、当財団をはじめ県内の中小企業支援機関、金融機関などの18の支援拠点と、大学、公設試等のパートナー機関が連携して県内企業者等の経営課題に向けた各種支援を実施しており、各機関の連携促進を図るため、支援機関連絡会議等を開催した。

今年度から中小企業の海外展開をより積極的にサポートする体制をとるため、日本貿易振興機構愛媛貿易情報センター、公益財団法人愛媛産業貿易振興協会が新たなパートナー機関に加わった。

【チームえびす支援拠点】

産業支援機関	(公財)えひめ産業振興財団、(財)東予産業創造センター (株)西条産業情報支援センター、(財)今治地域地場産業振興センター
商工関係団体	愛媛県中小企業団体中央会、愛媛県商工会連合会、商工会議所 (9)
金融機関	(株)伊予銀行、(株)愛媛銀行、愛媛信用金庫

○支援機関連絡会議 開催実績 2回

第1回：平成24年7月18日（水）13:00～16:30

第2回：平成25年3月22日（金）13:00～13:45

○チームえびす支援成果事例セミナー

日時 平成25年2月28日（金）14:00～17:00

場所 テクノプラザ愛媛 テクノホール

内容

・講演

「お困り事を聞き出すには」

講師：(有)ピー・ビー・ティー 取締役 土方 千代子氏

「愛媛における海外展開の状況とジェトロのサービス」

講師：日本貿易振興機構愛媛貿易情報センター 所長 岡部 光利氏

・成果事例発表

「face book で、もっとお客様の近くに！」

(有)旬鮮亭（回転寿司くじら丸）

「プライベートブランド商品開発、マーケティング戦略の実行による原点回帰」

宇和島漬物食品(株)

(2) 専門家派遣事業

① 専門家派遣支援

中小企業者から持ち込まれた経営上の問題や、課題の解決を図るため、財団に登録されている専門家（ビジネスアドバイザー）を派遣した。

派遣延べ件数 203件 対象企業（個人）40先

② 支援成果の普及

県内各拠点の協力の下、各拠点から寄せられた優良事例による事例集を作成し、チームえびす各支援拠点等へ配布した。

作成部数 7,000部

(3) チャレンジプラン（新商品研究開発支援事業）

新商品開発や新事業創出に取り組むグループに対し、研究開発に要する経費を支援するもので、平成24年度は、3グループを支援した。

支援対象分野	支援対象グループ	成果等
環境・廃棄物	なし	
農水業・食品加工	【23年度継続 1グループ】 1 「進化！伊予市で作るおいしい天ぷら」グループ 【24年度新規 1グループ】 1 宇和島鯛めしブランド化研究会	試作品販売 ブランドマーク等制作
医療	なし	
新技術工業製品	なし	
その他	【23年度継続 1グループ】 1 奥伊予街道七駅物語事業推進協議会	交通量等調査
合計 3 グループ (24年度新規 1)		

(4) 首都圏でのテストマーケティング実施に対する支援事業

首都圏等で開催される展示会等への新商品の出展を支援した。

展示会名等	主催	時期	場所	出展者
せとうち旬彩館	愛媛県、香川県	H25. 1. 28～2. 5	東京都港区新橋	3社

(5) 起業家育成施設支援強化事業

① 創業準備室の提供（スタートアップ支援オフィス）

会社を設立しようとする個人に創業準備室を提供し支援した。平成 24 年度中の新規利用者は、延べ 11 人である。このうち、1 人が入居中に法人を設立した。

（14 室、 5,000 円/月）

② インキュベーションマネージャー（IM）養成研修

創業準備室、インキュベート・ルーム入居者の育成支援を行う IM 養成研修に 2 名派遣し、インキュベーションマネージャーの認定を受けた。

③ インキュベーション施設支援強化

創業準備室及びインキュベート・ルーム入居者を対象に、IM 等専門家によるサポート、商品化プランニング支援等を行うとともに、入居者同士のビジネス創出交流会を開催した。

また、創業・起業家等を発掘しビジネスプランのブラッシュアップや課題解決等の支援を行うとともに、創業準備室、インキュベート・ルームへの入居や財団の事業等の利活用促進を図るため、「えひめビジネスインキュベーションスクール」を開設した。

○えひめビジネスインキュベーションスクール

・ビジネスプランコース【全 12 回、受講者 31 名】

講師：財団プロジェクトマネージャー 中野 隆（1、12 回）

財団サブマネージャー 越智 豊（2～5 回）

IT コーディネーター 吉田 喜久男氏（6～7 回）

IT コーディネーター 飯尾 渉氏（8～11 回）

※毎回、企業経営者等のゲストスピーカーを招き、成功事例等の発表を行った。

【講座内容】

開催日 ※時間は各回とも 19:00~21:00	開催場所	内容
平成24年7月5日(木)	テクノ ラザ愛媛	「今なぜマーケティングなのか」
平成24年7月19日(木)		「お金の流れを整理しましょう①」
平成24年8月9日(木)		「お金の流れを整理しましょう②」
平成24年8月21日(木)		「現状の事業内容を把握しましょう①」
平成24年9月6日(木)		「現状の事業内容を把握しましょう②」
平成24年9月20日(木)		「現状を分析し、事業の将来を考えましょう①」
平成24年10月4日(木)		「現状を分析し、事業の将来を考えましょう②」
平成24年11月8日(木)		「成功するための要因を特定し、将来目標を設定しましょう」
平成24年11月22日(木)		「売るための戦略を考える①」
平成25年1月17日(木)		「売るための戦略を考える②」
平成25年2月7日(木)		「成功ストーリーを仕上げましょう」
平成25年2月21日(木)		「各種支援策を有効活用しましょう」

【先進地視察】

日程：11月6日（火）～11月7日（水）

視察先：【6日】道の駅 萩しーまーと（山口県萩市）

【7日】こぶしの里牧場（山口県防府市）

参加者：11名 ※課題解決スキルアップコースとの合同

・課題解決スキルアップコース【全5回、受講者11名】

講師：ITコーディネーター 山口 誠氏

【講座内容】

開催日 ※時間は各回とも 19:00~21:00	開催場所	内容
平成24年7月10日(火)	テクノ ラザ愛媛	「テーマ設定（グループ or 個人単位）」
平成24年9月11日(火)		「現状把握及び将来見通しに関する情報収集」
平成24年11月13日(火)		「収集情報の整理と分析」
平成25年1月22日(火)		「分析結果による今後の取組み」
平成25年2月26日(火)		「成果物取りまとめと共有」

・えひめビジネスインキュベーションスクール in 宇和島【全6回、受講者21名】

（宇和島商工会議所と共催）

講師：財団サブマネージャー 越智 豊（1～3回）

ITコーディネーター 宮本 英之介氏（4～6回）

開催日 ※時間は各回とも 18:30~20:30	開催場所	研修内容
平成 24 年 9 月 7 日(金)	宇和島商 工会議所	「創業の心構え 創業者に学び自分を知ろう」
平成 24 年 9 月 28 日(金)		「お金の流れを整理しましょう」
平成 24 年 10 月 5 日(金)		「現在の事業内容を把握しましょう」
平成 24 年 10 月 19 日(金)		「現状を分析し、事業の将来を考えましょう」
平成 24 年 11 月 2 日(金)		「成功するための要因を特定し、将来目標を設定しましょう」
平成 24 年 11 月 16 日(金)		「売るための戦略を考える」 「各種支援策を有効活用しましょう」

1. 2 えひめ先進環境ビジネス創出推進事業（県委託事業）

【予算額：6,007 千円】【決算額：5,076 千円】

低炭素社会の実現に向け、環境と経営の両立は企業においては急務となっており、環境ビジネスの分野は、今後大きな成長が見込まれている。そこで、県内事業者等への先進環境ビジネスへの取組を積極的に支援することにより、県内における先進環境ビジネスの創出の促進を図った。

(1) 先進環境ビジネス創出支援プロジェクトマネージャーの配置

先進環境ビジネスの創出のため、先進環境ビジネス創出支援プロジェクトマネージャー 1 名を配置し、県内における先進環境ビジネスの創出及びえひめ先進環境ビジネス研究会プロジェクトチームの活動支援等を行った。

氏名	得意分野、資格のうち主なもの
細谷 静	一級建築士、カーボンフットプリント、カーボンオフセット関連

(2) 先進環境ビジネスプロジェクトチームへの支援

「えひめ先進環境ビジネス研究会」で認定されたプロジェクトチームの活動に対し、先進環境ビジネス創出支援プロジェクトマネージャーによる支援を実施した。

プロジェクトチーム名	取組概要
地域型低炭素化推進スキーム 関連ビジネス研究プロジェクト	内子町をフィールドとした地域ぐるみの低炭素化の取組み（バイオマスエネルギー利用による国内クレジット制度活用、森林整備等による J-VER 制度活用、オフセットクレジットの商品化）の推進
県内創出オフセットクレジットによるカーボン・オフセット推進研究会	県内で創出される J-VER 制度による森林吸収クレジット（森林の間伐促進により増加した CO2 吸収量を売買可能にしたもの）を活用したイベント開催やオフセット商品化、あるいは地域と特定企業との交流ツールとして活用するための商品期間や販路開拓を通じた低炭素社会づくりへ向けた環境ビジネスモデルの創出
東温市国内クレジット活用プロジェクト	「とうおん太陽の恵みスマイルプロジェクト」として、家庭での太陽光発電設備の設置による CO2 の排出量の削減実績を国内クレジット制度を活用して「排出枠」として集約し、これら取組みに賛同・参加する企業による排出枠を活用した商品化及び販売促進方策等の実施によって、クレジットを活用した地産地消型モデルを創出

カーボンフットプリント制度を活用した地場産品商品化プロジェクト	省 CO2 型農産品（菌床しいたけ等）のカーボンフットプリント制度を活用した認証・表示方式での商品化に取り組むことにより、県内生産物の環境配慮型製品の普及・促進に向けた基礎的要件の把握・制度活用の習熟化を推進
西条地域再生エネルギー研究会	西条地域では、豊富な森林資源をはじめ太陽光発電システムを全国展開する企業や森林(整備)産業の振興に積極的な企業が立地し再生エネルギー供給基地構想を推進するにふさわしい優れたプレイヤーが存在し、地域の利を生かした再生可能エネルギー供給基地を整備することに関心のある者により意見・情報交換の場を提供し事業実現に寄与
合計 5 グループ（上記のほか、23 年度までに活動を終了したグループ：3 グループ）	

また、えひめ先進環境ビジネス研究会の事務局として、県産間伐材及び県内創出オフセットクレジットの利用促進を通じて森林環境の保全、低炭素社会の実現及び地域産業の活性化を図るため、県内の関係事業者（森林組合、チップ加工業者、製紙会社）による県産間伐材利用紙「えひめの木になる紙」の生産プロジェクトを推進し、平成25年3月に「えひめの木になる紙推進グループ」（事務局：愛媛県森林組合連合会）を設立し、平成25年4月からの生産・販売を実現した。

1. 3 グリーン・イノベーション関連ビジネス活性化促進事業（県委託事業）

【予算額：4,471 千円】【決算額：3,486 千円】

えひめ先進環境ビジネス創出推進事業を補完・連携し、県内事業者に対して、先進環境ビジネス、省エネルギー関連分野の国等の支援制度、先進事例などを紹介するセミナーを開催するとともに、県内事業者に対する意識啓発及び先進環境ビジネス研究会会員に対する情報共有を図るためのホームページを運営した。

(1) 「えひめ先進環境ビジネス推進セミナー」の開催

○第1回 えひめ先進環境ビジネス推進セミナー

日 時 平成24年6月1日（金）13：30～17：00

場 所 テクノプラザ愛媛 テクノホール

内 容 ・セミナー

「最新環境ビジネス事情について」

講師：みずほ情報総研(株) シニアマネージャー 弓崎 伸彦氏

「再生可能エネルギーの固定買取制度等について」

講師：四国経済産業局 エネルギー対策課長 見村 隆正氏

「再生可能エネルギー法施行で環境ビジネスはどうか変わるか」

講師：(株)リサイクルワン 環境コンサルティング事業部

副部長 加藤 健太郎氏

○第2回 オフセット・クレジット（J-V E R）制度普及セミナー

日 時 平成24年10月16日（火）13:00～16:50

場 所 愛媛県武道館 大会議室

内 容 ・セミナー

「地球温暖化対策に係る政府の動きとカーボン・オフセットについて」

講師：環境省 地球温暖化対策課市場メカニズム室

室長補佐 三好 一樹氏

「オフセット・クレジットを取り巻く企業の動きとこれからの展望について」

講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

主席研究員 竹田 雅浩氏

「J-V E Rを活用した森林保全と地域振興」

講師：三重県大台町 宮川総合支所団業室 室長 谷 昌樹氏

「高知発 四国経由 未来の地球行き」

講師：高知県 環境共生課 チーフ 荒尾 正剛氏

(2) 専用ホームページの運営

財団ホームページ内の専用のサイトで運営している、「えひめ先進環境ビジネス研究会」のホームページにおいて、先進環境ビジネスの創出に関する情報の提供を行うとともに、「えひめ先進環境ビジネス推進研究会」会員企業相互間の情報共有を促進した。

1. 4 地域課題解決活動創出助成事業（県委託事業）

【予算額：7,320千円】【決算額：5,956千円】

地域課題の解決には、旧来からのボランティアや運動としての解決だけでなく、ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスなど、ビジネスとして解決していくことが、継続性を担保していくうえで極めて重要となってきた。

そこで、ビジネスセンスを持ち合わせ、多様な主体との協働により実行する地域課題解決活動をスムーズに事業展開できる支援を実施した。

(1) 地域課題解決活動創出助成事業等の実施

地域課題の解決活動に取り組もうとする担い手に対して、担い手養成研修を実施し、ビジネスセンスを持ち合わせた担い手を養成し、研修を受講した者の中から、協働化プランを作成して審査会を実施して採択された者については、その初期経費を助成し、県内での地域課題解決活動の立ち上げを支援した。

① 地域課題解決活動担い手養成研修

受講希望のあった3者に対し、各3回（各回2時間程度）、23年度の当事業で作成したテキストを使用して担い手養成研修を実施した。

[担い手養成研修実施状況]

	受講者	実施日	場所	講師
1	わんねすはうす (代表者：別宮 和章)	6月7日、25日、29日	波方公民館	(有) 邑都計画研究所 代表取締役 前田 眞氏
2	ほりえみらいくらぶ (代表者：長尾 真二)	6月13日、15日、7月3日	堀江公民館	
3	大和 殉	6月6日、13日、25日	テクノプラザ 愛媛	

② 地域課題解決活動創出助成事業

担い手養成研修を修了した上記受講者のうち2者、23年度に同研修を修了した受講者のうち1者から地域課題解決活動創出支援助成事業への応募申込があり、審査会を開催して2者を採択した。

これに、23年度に採択した3者を加えた5者に助成金の交付を決定し、うち4者に対して助成金の交付を行った。

[助成金交付状況]

	交付先	事業名	交付額
1	いりこ倶楽部 (代表者：山川 和子)	いりこ文化を発信する地域ツアー（大人の修学旅行）事業	1,000,000 円
2	NPO法人 佐礼っこ (代表者：松浦 弘正)	佐礼谷地域の全住民の「生きがい・やりがいづくり」支援事業	1,000,000 円
3	NPO法人 住・環境デザイン研究所 (代表者：村上 洋子)	くらしの環境改善事業 ～生活空間における快適性と環境負荷に関する診断と改善提案～	1,000,000 円
4	NPO法人 わんねすはうす (代表者：越智 幸枝)	生き生き・わんねすはうす	995,454 円

(2) 地域課題解決活動創出支援事業の実施

地域課題解決活動創出助成事業が円滑に実施されるよう、事業採択後の担い手に対して、専門家派遣を実施するなどの支援を行った。

(3) 地域課題解決活動事業者応援フォーラムの実施

地域課題解決活動を、活動事例等を通じて幅広く広報・啓発し、活動を支援する個人、企業を地域に多く創出するために、上記フォーラムを開催した。

○ 「地域課題解決活動創出支援事業」応援フォーラム

日 時 平成 25 年 2 月 28 日（木） 13：00～17：00

場 所 テクノプラザ愛媛 テクノホール

内 容

・ 講演

「これからの地域課題解決型コミュニティビジネスに求められるもの」

講師：(株)フラウ 代表取締役社長 濱砂 圭子氏

・活動状況報告

住環境デザイン研究所、いりこ倶楽部、NPO法人佐礼っこ、わんねすはうす

・パネルディスカッション

ファシリテーター：(有) 邑都計画研究所 代表取締役 前田 眞氏

パネリスト：(株)フラウ 代表取締役社長 濱砂 圭子氏

NPOグットファザー 代表理事 渡邊 泰正氏

(株)VOCE 恋愛プロデューサー 北川 裕子氏

1. 5 地域中小企業応援ファンド事業（地域中小企業応援ファンド事業基金事業）

地域資源を活用したビジネスの創出に取り組む個人やグループ活動等の企業化を支援するほか、県内の既存産業の高付加価値化、高度化を図るとともに、販路開拓、新事業展開等の取組などを支援することにより、ビジネスの裾野拡大、ひいては次代を担う新産業の育成や雇用の創出を推進するため、基金を19年度から順次造成し「えひめ中小企業応援ファンド」を創設するとともに、中小企業者等への助成を行う助成事業及び地域密着型ビジネスコーディネーターの設置等による支援事業を行った。

<基金の造成状況>

拠出機関	1号ファンド	2号ファンド	3号ファンド	合計
	地域密着	活力創出	農商工連携	
愛媛県	2億円	3億円	1億1千5百万円	6億1千5百万円
株式会社伊予銀行	1億5千万円	2億2千5百万円	2千5百万円	4億円
株式会社愛媛銀行	1億5千万円	2億2千5百万円	2千5百万円	4億円
愛媛信用金庫	1億5千万円	2億2千5百万円	2千5百万円	4億円
四国電力株式会社	1億5千万円	2億2千5百万円		3億7千5百万円
愛媛県信用農業協同組合連合会			3億円	3億円
愛媛県信用漁業協同組合連合会			1千万円	1千万円
独立行政法人中小企業基盤整備機構	3.2億円	4.8億円	2.0億円	10.0億円
合計	4.0億円	6.0億円	2.5億円	12.5億円

※10年間無利子貸付

(1) 地域密着型ビジネス創出助成事業

【予算額：87,435千円】【決算額：56,599千円】

① スタートアップ応援型助成事業

ア 一般枠

法人を設立して地域に密着した事業に新たに取り組もうとする個人又はグループ等を対象とし、事業の立ち上げに必要な初期的経費の助成

【助成率：3分の2以内、限度額：3,000千円】

○平成24年度継続事業 16件（平成23年度採択分）

【予算額：28,062千円】【決算額：22,023千円】

○平成24年度採択事業 17件（公募3回、応募37件）

【予算額：41,373千円】【決算額：28,459千円】

回	申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
第1回	(株)アミューズクリエイト	ご当地情報サイトの構築と需給マッチングイベントによる元気復興事業	1,372	669 25年度事業
	黒川敦彦	「地産都消」直売所の出店と食品宅配事業	3,000	0
	(株)ビジネスアシスト四国	TVショッピングを活用した愛媛産品販売	3,000	2,280 25年度事業
	(株)IAB	四国カルストの清流で育った高原農作物を活用した伝統ある糍漬の加工・販売	2,646	2,589
	徳島忠久	“媛すぎ・媛ひのき”を活用した県産J-VER木製品の加工・販売 ～あなたの循環 えひめの森へスイッチ～	2,533	2,474
	岩熊裕明	「炭塩」と「笹炭」の製造・販売、及びそれ等を製造する「内窯炭化装置」の製作	3,000	3,000
	國分茂樹	酪農家を作る「和づくりチーズ」製造・販売事業	2,844	2,823
第2回	津島あぐり工房	米粉を活用した新商品「味噌パン」の開発・販売促進事業	2,933	2,933
	寺内喜志郎	温泉しいたけを活用した湯ノ浦温泉活性化事業	3,000	2,271 25年度事業
	田井司	県産柑橘・野菜等を使ったカップデザート の製造及び販売事業	3,000	3,000 25年度事業
	牧野真雄	地域若手人材育成プロジェクト「キャリバイト」	1,953	1,486 25年度事業
	泉田保夫	中山産の栗・筍等を原料にした加工品の製造・販売事業	3,000	2,505 25年度事業
第3回	水谷哲也	吉田町の水産資源「アナゴ」を活用した“アナゴの青竹巻焼き”製造・販売事業	2,642	2,429 25年度事業
	篠原誠	媛パークを活用した「新居浜ぶひ井」の販売および地域活性化事業	3,000	25年度事業
	(株)しまなみコットンファーム	耕作放棄地を活用した今治コットンタオルの製造・販売ならびに観光誘致事業	3,000	25年度事業
	石丸祥久	県産煮干し粉末等を使った調味料及び健康補助を目的とした食材粉末の製造販売	3,000	25年度事業
	正木秀臣	滑床渓谷・鬼ヶ城山系の自然を活かしたアウトドア体験メニューを提供するガイドサービス事業	2,999	25年度事業
計17件			46,922	28,459

イ ビジネスデザイン枠

デザイナー等との協働による商品開発、デザイン企画開発などにかかる必要経費を助成

【助成率：2分の1以内、限度額：重点枠2,500千円、一般枠1,500千円】

○平成24年度採択事業 3件（公募1回、応募4件）

【予算額：2,000千円】【決算額：783千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
(株)いちごママ	ロゴやパッケージデザインの統一による 苺、苺加工食品のブランド化と販売展開	500	0 25年度事業
(株)五十崎社中	手漉き和紙を使った新たなデザイン文具開 発	620	612
(株)オーシャンドリ ーム	地元八幡浜漁港で水揚げされるハモ加工品 のブランド化	1,500	171 25年度事業
計3件		2,620	783

ウ メッセチャレンジ枠

国内外で開催される見本市・商談会等への出展、参加にかかる必要経費を助成

【助成率：2分の1以内、限度額：500千円】

○平成24年度採択事業 1件（応募2件）

【予算額：1,000千円】【決算額：334千円】

申請者	出展商品／出展先	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
(株)ドッグライフコミ ュニケーション	ペット関連用品／インターペット2012	377	334
計1件		377	334

② 新規ビジネス展開助成事業

本県が有する優れた技術シーズを活用した新事業の展開や、新製品・新サービスによる新たな事業展開の取組への助成

【助成率：2分の1以内、限度額：5,000千円】

○平成24年度採択事業 2件（応募2件）

【予算額：15,000千円】【決算額：5,000千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
(株)エイトワン	えひめの「食・伝統・技・ヒト」が集う 交流創造スペース	5,000	5,000
(株)タケチ	医療用新方式超音波診断機用カプラー (ゲル材)の製造	5,000	25年度事業
計2件		10,000	5,000

(2) 地域密着型ビジネス創出支援事業

【予算額：20,290千円】【決算額：19,988千円】

① コーディネーターの設置

地域密着型ビジネス担当のコーディネーターを3名設置し、ビジネスシーズの発掘と事業化へ向けたコーディネートを行うとともに、発掘案件の事業計画・収支計画等ビジネスプランの作成支援などを行った。

- 相談件数 586件
- 申請支援 「地域密着型ビジネス創出助成事業」申請支援15件（うち採択12件）
- 創業（法人化）件数 4件

② ワークショップ開催事業

地域密着型ビジネスへの取り組みを啓発・促進するため、ビジネスシーズの発掘方法、事業計画の作成方法など、地域密着型ビジネスを立ち上げるにあたって必要となる知識習得を行う研修を合計3回行った。

- 創業講座

西条市会場にて1回、松山市会場にて1回、宇和島市会場にて1回実施

③ フォローアップ支援事業

- 元気なえひめのフレッシュアーズ企業フェア2012（新規）

ファンダ助成事業者及び支援事業者の商品を、個ではなく群で展開することで、商品ラインナップの豊富さによる集客力の向上を図り、幅広い年齢層の消費者に向けてPRすることで今後の販路開拓に繋げるためにフェアを開催した。

開催日：平成24年10月12日（金）～13日（土）

開催場所：いよてつ高島屋 8F スカイドーム

参加者：助成企業19社

- 「FOODEX JAPAN2013」愛媛県ブース

愛媛の食品の魅力を発信し県内中小企業者等の販路開拓を図るため、当財団と愛媛県及び関係機関が連携し、国内最大級の食をテーマとした展示会である「FOODEX JAPAN2013」に大規模共同出展型の「愛媛県ブース」[27小間（27企業）]を出展し、知事によるトップセールスを行うなど、支援に努めた。

開催日：平成25年3月5日（火）～8日（金）

開催場所：幕張メッセ

県ブース来場者：食品・飲料のバイヤー4,955社（商社・卸、小売等）

(3) 活力創出助成事業

【予算額：156,456千円】【決算額：58,214千円】

成長が見込まれる分野における技術開発、商品開発、販路開拓等に取り組む中小企業者又は中小企業者のグループを対象として、助成事業の公募・採択を行った。

① えひめプロダクツ市場開拓助成事業

ア ビジネスデザイン助成事業

デザイナー等との協働による商品開発、デザイン企画開発などにかかる必要経費を助成

【助成率：2分の1以内、限度額：重点枠2,500千円、一般枠1,500千円】

○平成24年度採択事業 2件（応募4件）

【予算額：4,123千円】 【決算額：825千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
協和酒造(株)	地元の特産物で造ったリキュール・凍結酒のトータルデザイン開発及びブランド構築	1,050	825
(株)中野本舗	ディフュージョンブランド構築による新たな顧客層の開拓	1,500	25年度事業
計2件		2,550	825

イ メッセチャレンジ助成事業

国内外で開催される見本市・商談会等への出展、参加にかかる必要経費を助成

【助成率：2分の1以内、限度額：500千円】

○平成24年度採択事業 9件（応募14件）

【予算額：2,877千円】【決算額：2,877千円】

申請者	出展商品／出展先	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
(株)松南園	黒烏龍茶／地方銀行フードセレクション	440	134
四国溶材(株)	溶接材料／日中ものづくり商談会@上海2012	226	226
(株)志賀商店	サラダ用ひじき大豆水煮／アグリフードEXPO2012 東京、地方銀行フードセレクション	184	170
(株)オンスイ	冷凍ぶり／インターフード関西2012	321	321
(有)広沢水産	トラフグ、本グエ／地方銀行フードセレクション	365	187
(株)藤田製作所	鑄造後処理機械／第11回中国国際鑄造博覧会、第160回全国講演大会技術展示会	500	500
(有)シグマ企画	店頭販売促進用卓上機械／第47回スーパーマーケット・トレードショー2013	410	339
池内タオル(株)	タオル製品／ニューヨークインターナショナルギフトフェア	500	500
イトマン(株)	生活紙・ノベルティ／第4回販促EXPO	500	500
計9件		3,446	2,877

② がんばるものづくり企業助成事業

ア FS調査助成事業

独創的で市場性が見込まれる技術シーズについての技術的データの取得・検証、独創的な新製品・新サービスによる事業展開に関する市場性・事業性向上に係る調査研究等の取組への助成

【助成率：3分の2以内、限度額：1,000千円】

○平成24年度採択事業 1件（公募1回、応募2件）

【予算額：1,000千円】【決算額：787千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
(株)トミオカテント	消臭メッシュ生地の製品性能実験及び市場性に関する調査研究	1,000	787
計1件		1,000	787

イ スーパーベンチャー助成事業

独創的で著しく新規性のある創造的知識を活用したリスクの高い新技術の研究開発等の取組への助成

【助成率：5分の4以内、限度額：20,000千円/年（最大2年）】

○平成24年度採択事業 該当なし（公募1回、応募1件）

【予算額：2,000千円】【決算額：0千円】

ウ 研究開発助成事業

【予算額：119,456千円】【決算額：49,156千円】

モノ作り分野においてけん引役となるような新技術・新製品の研究開発、県内の健康福祉研究成果を事業化するための新技術・新製品の研究開発や、IT分野の有望案件に係る新技術・新製品の研究開発の取組への助成

【助成率：3分の2以内、限度額：一般枠20,000千円、小規模枠3,000千円/年（最大2年）】

○平成24年度継続事業

一般枠4件、小規模枠1件（平成22年度採択分）

【予算額：15,704千円】【決算額：14,111千円】

一般枠6件、小規模枠2件（平成23年度採択分）

【予算額：41,025千円】【決算額：28,700千円】

○平成24年度採択事業

一般枠5件、小規模枠1件（応募：一般枠8件、小規模枠2件）

【予算額：62,727千円】【決算額：6,345千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
三共オートサービス(株) (一般枠)	改造ハイブリッドEV大型車の開発	13,364	114 25年度事業
ダイオーエンジニアリング(株) (一般枠)	メタル（レアメタルを含む）選別を可能とする高精度金属材質選別装置の開発	20,000	725 25年度事業
ウィンテック(株) (一般枠)	不織布業界製造ライン向け新規カーボンロールの開発	20,000	30 25年度事業
(株)アイ・エヌ・エス (一般枠)	学校現場における成績・出欠情報をデジタル化して管理できる校務支援システムの研究開発事業	3,359	2,266 25年度事業
丸鷹産業(株) (一般枠)	メタルファインファイバー（MFF）を用いた機能性繊維製品の開発	3,157	610 25年度事業

株アート太陽 (小規模枠)	クラウドコンピューティングを活用した受注管理システムの開発	3,000	2,600 25年度事業
計6件		62,880	6,345

エ 作業標準作成スキル導入助成事業

ものづくり企業が、動画手法等を用いて技術・技能伝承を図るための作業標準書(マニュアル)を作成するスキル習得による伝承すべき技術・技能の把握、その効果的な伝承のための取組への助成

【助成率：3分の2以内、限度額：1,500千円】

○平成24年度採択事業 2件(公募1回、応募2件)

【予算額：3,000千円】【決算額：1,495千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
四国タオル工業組合	タオル製造の撚糸から織機工程に係る動画を用いた作業標準書作成	1,493	1,307
株越智鋳造所	鋳物製造の検査工程に係る動画を用いた作業標準書作成	209	188
計2件		1,702	1,495

③ 地域産業新需要開拓助成事業

地域のものづくり産業における新たな需要開拓のため、中小企業団体による中長期的な戦略の策定や、中長期的な戦略に基づいて業界として実施する、商品のブランド化に向けた試作品等の開発、新市場等の開拓、新営業方式等の構築等への取組への助成

【助成率：3分の2以内、限度額：3,000千円】

○平成24年度採択事業 2件(公募1回、応募3件)

【予算額：6,000千円】【決算額：2,108千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
四国珍味商工協 同組合	「松前の珍味」のブランド化並びに 新市場開拓事業	4,417	605 25・26年度事業
愛媛県酒造協同 組合	「愛媛の酒」の新規格“mar(マール)”のブランド化事業	4,534	1,503 25・26年度事業
計2件		8,951	2,108

(4) 活力創出支援事業

【予算額：23,799千円】【決算額：14,132千円】

① 産業支援機関向け等助成事業

ア ものづくり企業マッチング支援事業

県内ものづくり中小企業群と県内外大手企業等とのマッチングによる、県内中小企業における新製品の開発等への支援を行うため、県内産業支援機関に対し必要経費の一部を助成した。

【助成率：10分の10以内、助成額：7,000千円】

【予算額：7,000千円】【決算額：7,000千円】

産業支援機関	実施内容	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
財団法人 東予産業創造 センター	ジョイントコーディネーターの設置	7,000	7,000
	次世代技術研究会、経営基盤強化のための経営者勉強会、CFRP（炭素繊維複合材料）をテーマにした研究会、小規模研究会の設置・運営		
	愛媛県、四国経済産業局や(株)さがみはら産業創造センターが主催するビジネスマッチング等へ県内企業を参加させ合計11件マッチングした。		

イ えひめプロダクツ市場開拓支援事業

(ア) えひめプロダクツ市場開拓支援事業（国内枠）

販路開拓のノウハウを有する外部専門家等を活用した、県内外の販売見込み先開拓のための仕組み構築への支援を行うため、県内産業支援機関に対し必要経費の一部を助成した。

【助成率：10分の10以内、助成額：4,000千円】

【予算額：4,000千円】 【決算額：3,144千円】

産業支援機関	実施内容	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
愛媛県中小企業団体中央会	販路開拓のノウハウを有する外部専門家（販路開拓ナビゲーター）を活用した、首都圏の販売見込先紹介・マッチング、販路開拓現地指導の実施により、市場開拓の支援を行った。	4,000	3,144

(イ) えひめプロダクツ市場開拓支援事業（グローバル枠、海外チャレンジ枠）

海外とのビジネス交流を意図する県内中小企業について、現地関心企業等の発掘や商談アレンジ等への支援を行うため、県内産業支援機関に対し必要経費の一部を助成した。

【助成率：10分の10以内、限度額：500千円】

【予算額：5,000千円】【決算額：89千円】

産業支援機関	実施内容	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
独立行政法人 日本貿易振興機構 愛媛貿易情報センター	各種商談支援（関連情報の収集・提供、通訳の手配、パンフレットの外国語訳・印刷等）	500	89

ウ ハンズオン助成事業

知事が承認した産業支援機関が取り組むがんばるものづくり企業助成事業の助成事業者等へのハンズオン支援に必要な経費の助成を行う。

② 技術力ハンズオン支援事業

活力創出助成事業等担当のコーディネーターを配置し、新規案件の支援や助成企業のフォローアップなどを行う。

(5) 農商工連携助成事業

農林漁業者と中小企業者等が有機的に連携し、新たな商品・サービスの開発などにかかる必要経費を助成

【助成率：3分の2以内、限度額：5,000千円】

○平成24年度採択事業 8件（応募14件）

【予算額：41,727千円】【決算額：27,372千円】

申請者		事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
中小企業者	農林漁業者			
(株)ステップコミュニケーション	(有)昭和水産	八幡浜産の未利用小魚を活用した加工品開発	3,814	2,201
(有)松下海産	宝水産(有)	養殖マダイの麴漬けフィレーと中骨ペースト加工食品の開発・製造・販売	4,999	4,107
(有)森酢卵研究所	福岡富恵	生姜と果実（ゆず・すだち）と酢卵を活用した機能性ゼリーの開発	4,400	3,711
(株)別子飴本舗	うま農業協同組合	四国中央市の里芋「伊予美人」の親芋などを活用したスイーツの開発	3,259	2,187
木野内化成産業(株)	金寄 長志 熊谷 孝道	西予市産のスナゴケを利用した屋上緑化商品の開発	4,975	3,425
(株)内子フレッシュパークからり	山本 久美 横内 秀義	モチムギを活用した高機能なスイーツ等の加工品の開発	3,705	2,622
(有)かんこめ	安藤英利	機能性を高めた西条産玄米を使った加工品の開発	4,642	4,144
栄光酒造(株)	東予園芸農業協同組合	愛媛県産の南高梅を用いた菓膳梅酒の開発と販路開拓	4,999	4,975
計8件			34,793	27,372

(6) 農商工連携支援事業

農林漁業者と中小企業者等との連携体を支援する取組みにかかる必要経費を助成した。

【助成率：10分の10以内、限度額：3,000千円】

○平成24年度採択事業 3件（応募3件）

【予算額：9,000千円】【決算額：6,734千円】

産業支援機関	実施内容	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
愛媛県中小企業団体中央会	県内産の「牛乳」や「水産物」等を活用した商品開発支援（5回）や展示会出展など販路開拓等に対する総合的な支援を実施	3,000	2,808

愛媛県農業協同組合中央会	商品開発や販路開拓に資するセミナー（2回）や展示会出展など販路開拓等に対する総合的な支援を実施	1,564	1,412
松山商工会議所	商品開発、販路開拓やデザインに資するセミナー（3回）や展示会出展など販路開拓等に対する総合的な支援を実施	2,860	2,514
計3件		7,424	6,734

(7) 管理事業

地域密着型ビジネス創出助成事業、地域密着型ビジネス創出支援事業、活力創出助成事業、活力創出支援事業、農商工連携助成事業及び農商工連携支援事業を円滑かつ適正に実施するために必要な交付事務及び運用事務等の業務を行う。

1. 6 農商工連携ビジネスプロデューサー設置事業（県補助事業）

【予算額：8,830千円】【決算額：8,654千円】

えひめ農商工連携ファンド事業を計画的、効果的に実施するため、財団に農商工連携プロジェクトマネージャー1名を配置し、県内の農商工連携の促進を図った。

平成24年度相談件数：192件

1. 7 地域産業活性化企業誘致活動事業（市町負担事業）

【予算額：3,600千円】【決算額：1,836千円】

愛媛県及び関係市町において策定された県内5地域における企業立地促進法に基づく基本計画が平成24年度末で終期を迎えることから、引き続き県内において新たな生産拠点を設ける企業に対し、企業立地促進法に基づく税制優遇措置等を適用することにより更なる産業集積を図るため、「愛媛県地域産業活性化協議会（事務局：えひめ産業振興財団）」において、平成25年4月から5年間を計画期間とする新たな基本計画を策定した。

新たな基本計画は、現行の基本計画で定めている産業集積区域及び指定集積業種を基本として、成果目標の達成状況等を踏まえ必要な見直し等を行った上で策定した。

なお、現行計画の検証や新たな計画策定のための工業統計データ等の収集並びに整理・分析及び地域経済動向分析については、専門の民間事業者に委託した。

(1) ワーキングチーム会議の開催（1回）

(2) 現計画圏域毎の分科会の開催（各1回）

(3) 新基本計画PRリーフレットの作成

1. 8 下請企業振興事業（県補助事業）

【予算額：17,378千円】【決算額：16,898千円】

県内下請中小企業の新規取引先の開拓及び受注の安定確保を図るため、広域取引情報の提

供、商談会の開催など、取引あっせんで推進するとともに、取引の適正化のための各種事業を実施した。

(1) 受発注情報等収集提供事業

発注情報等を下請中小企業に提供するほか、県内下請中小企業が保有する設備内容を掲載した受注登録企業名簿を紹介し、広く県外の有力発注企業を訪問し県内下請中小企業の受注促進を支援した。

発注開拓調査

調査企業数	調査対象	内 容
819社	鉄工・電気関連	今後の生産計画や新規発注計画について
95社	縫製関連	今後の生産計画や新規発注計画について

発注開拓訪問企業

実施年月日	訪問企業
24. 11. 14～15	東洋エンジニアリング(株)、月島機械(株)、富士電機(株)
25. 1. 25	三菱マテリアルテクノ(株)、日鉄住金関西工業(株)
25. 3. 7～8	日鋼テクノ(株)、鎌田特殊鋼(株)、(株)神戸製鋼所西条工場

(2) 広域商談会開催事業

県内外発注企業の具体的な発注ニーズを把握し、発注企業と県内下請中小企業との間で、個別の面談を行う「四国4県(四国ビジネスマッチング2012)」及び「近畿・四国11府県」による合同緊急広域商談会を開催し、県内下請中小企業の新規取引先の開拓を支援した。

なお、四国の広域商談会は、当県が事務局を担当し、11月7日、アイテムえひめにおいて実施した。

広域商談会開催事業

ニーズ調査

調査企業数	調査対象	内 容
7,543(四国)	鉄工・電気関連	新規の発注内容や商談会への参加の有無について
7,879(近畿)	鉄工・電気関連	新規の発注内容や商談会への参加の有無について

商談会

開催年月日	開催場所	発注企業数	受注企業数	商談件数
24. 11. 7	松山市	55社	62社	307件
25. 2. 21～22	京都市	124社	7社	28件

業種別あっせん成立件数及び契約当初受注金額

業 種	成立件数	契約当初受注金額
鉄工・電気	15件	80,921千円
縫 製	0件	0円
計	15件	80,921千円

(3) 中小企業取引条件改善講習会開催事業

下請取引の適正化を推進するため、取引に係る法令を中心とした取引条件改善講習会を全国中小企業取引振興協会と連携して開催した。

中小企業取引条件改善講習会

開催年月日	開催場所	参加者数	内 容
24.9.20	松山市	56名	<ul style="list-style-type: none"> ・下請適正取引に関する情報の紹介について ・下請代金支払遅延等防止法及び下請中小企業振興法の概要について ・下請代金支払遅延等防止法の詳細について

< B : 産業技術高度化支援事業 >

1. 9 起業化シーズ育成支援事業 (技術振興事業基金事業)

【予算額：7,928千円】【決算額：7,811千円】

大学等高等教育機関及び公設試験研究機関の技術シーズの発掘を行い、産業界の新事業進出や既存企業の新事業展開に寄与するため、大学・公設試等の研究者が実施する独創的な研究開発に対し研究補助(大学)及び研究委託(公設試)を行った。平成24年度は6件採択。

【補助率等：10分の10以内、補助金額等：150万円以内(大学)100万円以内(公設試)】

機 関	提案者	テーマ名
愛媛大学大学院 理工学研究科	教授 黄木 景二	CFRP 薄板のプレス穿孔加工技術の開発
愛媛大学大学院 理工学研究科	教授 井原 栄治	新しい高分子合成法に基づく不飽和ポリエステル樹脂の開発
愛媛大学南予水産研究 センター 農学部分室	准教授 高木 基裕	高成長を示す養殖マダいの選抜技術開発
産業技術研究所 技術開発部	主任研究員 倉橋 真司	車載用レーダに対応した電波吸収材に関する研究
産業技術研究所 繊維産業技術センター	主任研究員 坂本 勝	ポリ乳酸繊維を利用した、部屋干し臭が低減されたタオルの開発
産業技術研究所 紙産業技術センター	主任研究員 大塚 和弘	高機能なシート状触媒の研究開発

1. 10 ライフサポート産業支援事業 (地域産業活性化基金事業)

【予算額：7,855千円】【決算額：7,427千円】

人々の生活に役立つ製品の製造・販売に積極的な企業等が連携するためのネットワーク形成を図るとともに、生活支援用具等の開発促進に向けての研究部会の開催を行った。

(1) ネットワーク形成事業

四国テクノブリッジ計画で位置付けられた「ライフサポート産業ネットワーク形成事業」を引き続き実施し、企業間のマッチングや各種事業関係者との連携により、新事業化・新商

品化への取り組みをサポートする。

(2) 研究部会支援事業

① 超精密加工研究部会

従来は、手仕上げでしかできなかった超微細ディンプル加工をマシニングセンターで行うことを目的に、加工研究・検討を行った。この技術は温熱用治療針等の製品化等への利用が期待される。研究部会を3回、WGを7回開催した。

メンバー	(産) 田中技研株式会社 取締役工場長 田中 宏文 電子機器製造部 部長 久保 研 〃 次長 近藤 悟 (官) 公益財団法人えひめ産業振興財団 産業振興部 産学官連携推進課 課長 青野 洋一	
会議	開催日	場所
第1回研究部会	H24. 5. 16	田中技研株式会社 (西条市)
第2回研究部会	H24. 9. 19	〃
第3回研究部会	H25. 3. 21	〃
第1回WG	H24. 6. 14	〃
第2回WG	H24. 7. 24	〃
第3回WG	H24. 9. 5	〃
第4回WG	H24. 10. 26	〃
第5回WG	H24. 11. 20	〃
第6階WG	H24. 12. 20	〃
第7回WG	H25. 1. 23	〃

② 柑橘果皮分離機開発研究部会

柑橘類の加工時に排出していた中間材料を活用することを目的に、未利用素材を効率よく取り出す分離機について検討を行い、未利用中間材料の果肉と果皮を分離できる柑橘果皮分離機を試作した。研究部会を4回、WGを6回開催した。

メンバー	(産) 大三島果汁工業株式会社 代表取締役 菅 剋太 取締役 浅野 源揚市 (官) 公益財団法人えひめ産業振興財団 産業振興部 産学官連携推進課 課長 青野 洋一	
会議	開催日	場所
第1回研究部会	H24. 6. 28	大三島果汁工業株式会社 (今治市大三島町)
第2回研究部会	H24. 8. 29	〃
第3回研究部会	H24. 9. 12	テクノプラザ愛媛
第4回研究部会	H25. 3. 13	大三島果汁工業株式会社 (今治市大三島町)
第1回WG	H24. 7. 5	〃
第2回WG	H24. 10. 30	〃
第3回WG	H24. 11. 29	〃
第4回WG	H24. 12. 13	〃
第5回WG	H25. 1. 16	〃
第6回WG	H25. 2. 13	〃

③ いぶし銀空間創造研究部会

いぶし瓦の技術を用いて、癒しをもたらす「いぶし銀の室内空間」を創造することを目的に、プロのデザイナーのアドバイスも受けながら、内装用のいぶしタイルを開発し、和室用のつuitate等を試作した。研究部会を5回、WGを2回開催した。(25年度継続)

メンバー	(産) 小泉製瓦有限会社 代表取締役 小泉 信三 苔アーティスト 佐藤 久志 愛媛県産業技術研究所 窯業技術センター 主任研究員 菅 雅彦 (官) 公益財団法人えひめ産業振興財団 産業振興部 産学官連携推進課 課長 青野 洋一	
専門家	(デザインアドバイザー) 住空間工房 代表 葛原 郁子 (販売アドバイザー) (株)ビジネスアシスト四国 代表取締役 植松 守	
会議	開催日	場所
第1回研究部会	H24. 8. 27	テクノプラザ愛媛
第2回研究部会	H24. 10. 16	瓦のふるさと公園 かわら館 (今治市菊間町)
第3回研究部会	H24. 12. 14	テクノプラザ愛媛
第4回研究部会	H25. 1. 21	〃
第5回研究部会	H25. 3. 11	〃
第1回WG	H24. 12. 10	小泉製瓦所 (今治市菊間町)
第2回WG	H25. 3. 6	〃

④ 自動車部品適用研究部会

自動車部品へのCFRPの適用を検証することを目的に、厚板の熱硬化性樹脂及び熱可塑性樹脂の切断実験等を24回実施し、切断条件や特性を把握した。今後は、これら実験データを活用し、切断時の樹脂の挙動解析を行い、金型設計・製造分野に活用する。研究部会を3回開催した。

メンバー	(産) ヤマセイ株式会社 経営管理部管理課 管理係 係長 篠崎 孝治 技術部技術課 設計係 係長 武田 正也 技術部樹脂課 課長 森川 清司 〃 田邊 翔太郎 (学) 愛媛大学大学院理工学研究科 教授 黄木 景二	
会議	開催日	場所
第1回研究部会	H24. 10. 4	ヤマセイ株式会社 (松山市)
第2回研究部会	H24. 12. 27	愛媛大学工学部
第3回研究部会	H25. 3. 26	ヤマセイ株式会社 (松山市)

1. 11 中小企業製品開発プロジェクト支援事業 (地域産業活性化基金事業)

【予算額：4,857千円】【決算額：1,351千円】

① 医療機器製造研究会

経済産業省の課題解決型医療機器等開発事業 (平成23~25年度) の研究開発及び事

業化を促進するため、株式会社アドメテック外1機関に対し医療機器製造業許可の支援を行うなど、研究会を2回開催した。

メンバー	(産) (株)アドメテック、田中技研(株)	
専門家	GE 横河メディカルシステム元部長 三田村 正義 トモメディックス(株)代表取締役 石橋 喜治	
会議	開催日	場 所
第1回	H24. 5. 28	田中技研株式会社 北条工場
第2回	H25. 3. 14	テクノプラザ愛媛

② 超微細繊維複合技術研究会

経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業（平成 22～23 年度）のフォローアップ事業として、シンワ株式会社外1機関に対し、超微細繊維複合技術の高度化に対する支援を行うなど、研究会を2回開催した。

メンバー	(産) シンワ株式会社 (官) 愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター	
会議	開催日	場 所
第1回	H24. 12. 7	シンワ株式会社
第2回	H25. 3. 21	愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター

1. 12 マイクロリファイン普及啓発促進事業費（地域産業活性化基金事業）

【予算額：1,516 千円】【決算額：1,364 千円】

植物細胞の基本骨格であるセルロースナノファイバー（CNF）に着目した新たな材料創製に関する研究開発等が多方面で展開され進展がみられる中、本県は、バイオマスリファイナリー拠点域となりうる条件を備えている。このことから、本県における CNF 関連技術開発の進展と、バイオマスリファイナリー拠点域創出へ向けての意識の醸成及び先導的な取組みを推進するため、次の事業を実施した。

(1) 「バイオマスリファイナリーフォーラム」の開催

バイオマスリファイナリーに関する意識醸成、普及啓発を目的とするセミナーを開催した。

○えひめバイオマスリファイナリーフォーラム

日 時 平成 24 年 7 月 24 日（火） 13：30～17：30

場 所 テクノプラザ愛媛 テクノホール

内 容

・基調講演

「バイオ素材の新展開ーセルロースナノファイバーの現状と可能性」

京都大学生存圏研究所 教授 矢野 浩之氏

・特別講演

「セルロースナノファイバーを軸としたエネルギー及びマテリアル製造技術」

(独)産業技術総合研究所 バイオマスリファイナリー研究センター

セルロース利用研究チーム長 遠藤 貴士氏

・プレゼンテーション

「おかやまグリーンバイオ・プロジェクトの紹介」

岡山県産業企画課 新エネルギー推進室

グリーンバイオ・プロジェクトマネージャー 小田 喜一氏

「コットンからナノセルロース化の可能性」

丸三産業(株) 専務取締役 森本 侃氏

(2) えひめ CNF 研究会の設置

セルロースナノファイバー (CNF) の技術開発の進展とビジネス創出に向けて、県内のバイオマス資源を原料とする CNF を試験的に製造して評価・分析を行い、技術開発の課題抽出や製品化の可能性検討を行うため「えひめ CNF 研究会」を設置、研究会を 2 回開催した。

構成員	丸三産業(株)【座長】、カミ商事(株) 愛媛県産業技術研究所、食品産業技術センター、繊維産業技術センター (公財)えひめ産業振興財団		
研究会	第 1 回	開催日	H24.10.30
		場 所	テクノプラザ愛媛
		オブザーバー	愛媛県産業技術研究所長 愛媛大学農学部上級研究員
	第 2 回	開催日	H25.3.26
		場 所	テクノプラザ愛媛
		オブザーバー	愛媛県産業技術研究所長 愛媛大学農学部上級研究員
成果等	愛媛大学に委託して蜜柑残渣を原料とする CNF の製造及び物性試験を実施し、蜜柑搾汁残渣からの CNF 製造が可能であることが確認され、食物由来の CNF として食品への利用可能性があり、今後検討を進めることとなった。		

1. 13 戦略的技術開発プロジェクトブラッシュアップ事業 (県委託事業)

【予算額：686 千円】【決算額：397 千円】

地域経済の活性化に向け、産学官連携の先導役となる優れた技術プロジェクトの育成を図るため、技術開発プロジェクト・プロデューサー等が発掘したプロジェクトを、競争的資金の獲得に向けたブラッシュアップを行い、県内外のマーケティングや共同研究に関する専門家を招聘し「戦略的技術開発プロジェクトブラッシュアップ委員会」を 4 回開催した。

開催場所		テクノプラザ愛媛	
第 1 回	開催日	H24. 5. 31	
	提案事業名	課題解決型医療機器等開発事業	
	招聘専門家	2 名	
第 2 回	開催日	H24. 6. 25	
	提案事業名	戦略的基盤技術高度化支援事業	
	招聘専門家	2 名	

第3回	開催日	H25. 2. 28
	提案事業名	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業
	招聘専門家	3名
第4回	開催日	H25. 3. 18
	提案事業名	課題解決型医療機器等開発事業
	招聘専門家	3名

1. 14 戦略的基盤技術高度化支援事業（国委託事業）

【予算額：62,500千円】【決算額：54,942千円】

国内製造業の国際競争力の強化と新たな事業を目指し、中小企業のものづくり基盤技術（鋳造、鍛造、切削、めっき等）に資する革新的かつハイリスクな研究開発等を促進するため、経済産業省から委託事業を受け、当財団が事業管理機関として次の2事業を実施した。

（1）炭素繊維強化プラスチック用三次元形状のプレス切断金型の開発および成型／切断金型の開発

期 間	平成 22～24 年度[23 年度補正]（3年間）		
研究実施機関	（産）ヤマセイ㈱（㈱山本製作所から分社）、東レ㈱ （学）愛媛大学 （官）愛媛県産業技術研究所		
研究開発 推進委員会	第1回	開催日	H24. 5. 15
		場 所	テクノプラザ愛媛
	第2回	開催日	H24. 11. 13
		場 所	ヤマセイ株式会社
成果等	昨年度に引き続き、CFRP材の切断条件や金型膨張量をCAD・CAEシステムを使った解析について研究を進め、2件の特許出願を行った。これらの技術を用いて試作したCFRP材による自動車用部品は、部品製造メーカー等から高い評価を得た。今後は、本技術を更に改良し、精度を向上させることにより、実用化に努めることとしている。		

（2）画像処理を用いた薬剤分包機用計測モジュールおよびカートリッジの開発

期 間	平成 23～24 年度（2年間）		
研究実施機関	（産）システムエルエスアイ㈱、土佐電子工業㈱ （学）徳島大学、高知工科大学 （官）愛媛県産業技術研究所		
研究開発 推進委員会	第1回	開催日	H24. 6. 25
		場 所	テクノプラザ愛媛
	第2回	開催日	H25. 3. 1
		場 所	システムエルエスアイ株式会社
成果等	包装まで実現できるデモシステムとして、カートリッジ形状での分包機が、分包の現場で利用できるかというフィールドテストが実現できるレベルの装置（分包精度±2%）まで作り込むことが出来た。		

1. 15 愛媛県地域連携・提案型重点分野雇用創出事業（県委託事業）

【予算額：2,380千円】【決算額：2,113千円】

県内におけるEV関連産業の創出等を図るため「愛媛県EV推進協会」事務局として、県

のEV開発プロジェクトと連携し、協会会員の支援を実施した。

設 立	平成 22 年 10 月 22 日
会 長	愛媛大学 産学連携推進センター長
会員数	136 企業・団体・個人
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・メールによる定期的な会員への情報発信 ・ホームページの運営、管理 ・会員からの問い合わせへの対応
事務局	(公財) えひめ産業振興財団
事業期間	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

1. 16 課題解決型医療機器等開発事業 (国委託事業)

【予算額：57,622 千円】【決算額：52,536 千円】

医療現場からのニーズが高い研究課題に対し、地域の特色あるものづくり技術を有する中小企業等と、それらの課題を有する医療機関や研究機関とが連携した「医工連携」による医療機器の開発・改良を目的として、新たな腫瘍の焼灼治療機器を開発するため、治療針や焼灼治療器機の試作を行うと共に探索的治験にとりかかった。

期 間	平成 23～25 年度 (3 年間)		
研究実施機関	(産) (株)アドメテック、田中技研(株)、小松パワートロン(株) (学) 愛媛大学、金沢大学(H24～25 年度はアドバイザー)		
研究開発 推進委員会	第 1 回	開催日	H24. 7. 4
		場 所	テクノプラザ愛媛
	第 2 回	開催日	H24. 12. 19
		場 所	テクノプラザ愛媛
成果等	愛媛大学附属病院にて探索的治験を 4 症例実施し、良好な結果を得ることが出来た。また、医療現場からの要望点等を洗い出し、リスクマネジメントを踏まえながら検証的治験に向けた医療機器の開発・改良を行い、試作機 2 機の製作を行った。		

1. 17 地域イノベーション戦略支援事業（国補助事業）（新規）

【予算額：21,031千円】【決算額：16,663千円】

文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラムにおいて、「持続可能なえひめ水産イノベーションシステムの構築」をテーマに採択を受け（平成24～28年度）、水産業の活性化を核として地域イノベーションを推進するため、世界トップレベルの大学の海洋生命科学研究を活用し、産学官に合わせて、金融機関が一体となった自律したクラスターを形成する。そのため、中核となる研究者を集積し、大学等の知のネットワークを構築し研究基盤をより強固なものとするとともに、地域イノベーションを担う人材を育成する。

○推進体制の構築

① えひめ水産イノベーション創出推進協議会の設置

産学官金による協議会を設置し、地域イノベーション戦略の策定や地域イノベーション戦略の実現に向けた各参画機関の取り組み状況及び成果等の確認、今後の取組の方向性を決定する。

（産）愛媛県漁業協同組合連合会、（社）愛媛経済同友会、（株）テクノネットワーク四国

（学）愛媛大学

（官）愛媛県、宇和島市、八幡浜市、西予市、西宇和郡伊方町、南宇和郡愛南町

（金）（株）伊予銀行、（株）愛媛銀行、愛媛信用金庫、宇和島信用金庫、

愛媛県信用漁業協同組合連合会

（総合調整機関）（公財）えひめ産業振興財団

② プロジェクトディレクタと地域連携コーディネータの配置

事業全体を統括する「プロジェクトディレクタ（1名）」と地域密着型の「地域コーディネータ（2名）」を配置し、地域のシーズ・ニーズの情報収集とマッチングを行い、大学等の技術シーズを研究から事業化まで一貫した「大学等の知のネットワーク構築」を推進する。

○協議会・委員会の運営

産学官金の連携を図り、効果的な事業運営を行うため、次の協議会等を運営した。

えひめ水産イノベーション創出推進協議会

開催日（場所）	平成24年5月7日（松山市）、平成24年9月28日（宇和島市） 平成25年3月21日（松山市）
内 容	地域イノベーション戦略の策定、地域イノベーション戦略の実現に向けた各参画機関の取組状況及び成果等の確認及び今後の取組の方向性の決定を行った。

オープニングセミナー

開催日（場所）	平成24年10月2日（宇和島市）
内 容	地域イノベーション戦略支援プログラムを広く周知し、円滑な事業の実施を推進するため、プロジェクトディレクターが事業の説明を行うとともに、水産庁次長宮原正典氏及び函館がごめ連合代表布村重樹氏により水産業の6次産業化等に関する講演を行った。

外部評価委員会

開催日（場所）	平成24年11月20日（松山市）、平成25年2月13日（松山市）
内 容	戦略支援プログラムの成果及び今後の取組の方向性等について、客観的な評価を行うことを目的に、学識経験者等による第三者的立場から評価・助言を受けた。

研究成果報告会

開催日（場所）	平成25年2月12日（宇和島市）
内 容	本年度の研究成果を広く周知することにより、関係者に当プログラムへの理解を深めるとともに、今後の事業の円滑な推進に資するため、研究者による研究成果報告及び質疑応答を行った。

< C : 情報化促進支援事業 >

1. 18 中小企業支援センター情報ネットワークシステム管理運営事業(県委託事業)

【予算額：8,839千円】【決算額：8,826千円】

インターネットを通じて中小企業支援機関や商工団体等と連携を図るとともに、各種産業情報や企業情報等を収集・発信することにより、県内中小企業の情報化を支援するため、愛媛県からの委託を受け、中小企業支援センター情報ネットワークの管理・運営を行った。

○ 名 称 愛媛県中小企業支援センター情報ネットワーク（ehime-iinet）

○ 発信する情報

ア 愛媛のプロフィール

イ 産業情報 企業情報、物産情報、伝統産業情報、商店街情報、図書・ビデオ情報

ウ 提供情報 中小企業支援情報、その他財団事業情報

1. 19 高度IT人材創出・育成事業（県補助事業）

【予算額：6,998千円】【決算額：3,944千円】

高度化する情報関連産業のニーズを踏まえ、実践的かつ即戦力として活躍できる人材を育成するため、愛媛県の補助を受け、IT技術者の実務・技術両面のスキルアップにつながる高度IT人材創出・育成研修を13講座実施した。

場所：テクノプラザ愛媛、産業情報センター

講座名	研修内容	実施日 (日数)	受講者数 (修了者数)	受講料
「クラウドコンピューティング」とは何か	クラウド環境を利用するサービスを実際に利用することによって、「クラウドコンピューティングとは何か」について解説・演習等を実施した。	H24.7.17 (1日間)	9名 (9名)	19,000 円
クラウドサービス導入のための要件定義・設計	クラウドサービスを導入するうえで必要となる要件定義の進め方や、事業要件・業務要件の定義内容、システム要件の定義内容等について、講義やグループワーク等を実施した。	H24. 8. 3 (1日間)	5名 (5名)	20,000 円
Androidプログラミング	Androidの最新情報とビジネスへの適用可能性を紹介するとともに、実際にパソコンを使ってAndroidアプリケーションの開発(スマートフォン対応のプログラム作成)の実習や講義等を実施した。	H24. 8.20 (1日間)	10名 (10名)	19,000 円
IT技術者のための問題発見・解決能力	システムトラブルをいろいろな視点から考察し、原因の本質を深く究明、把握することにより、未然にその種を発見するための行動、視点及びその方法を考えるとともに、開発工程における問題発見の意識の持ち方について解説・演習等を実施した。	H24. 9.10 ～ 9.11 (2日間)	12名 (12名)	21,000 円
ネットワークシステム基礎	ネットワークシステムの構成と構成技術を身に付けるため、OSI基本参照モデルやプロトコルの必要性と動向、ネットワークの種類と動向など、ネットワークの全体像について解説した。	H24. 9.27 ～ 9.28 (2日間)	8名 (8名)	19,000 円
「クラウドコンピューティング」とは何か	クラウド環境を利用するサービスを実際に利用することによって、「クラウドコンピューティングとは何か」について解説・演習等を実施した。	H24.10. 9 (1日間)	11名 (11名)	17,000 円

情報システム部門のためのクラウドの導入	クラウドコンピューティングの技術動向やビジネス動向により、これから起こり得る変化や価値について考えるとともに、システム構想を検討するうえで必要となるクラウドの適用範囲について講義・演習を実施した。	H24.10.25 ～10.26 (2日間)	7名 (7名)	20,000 円
クラウドサービス導入のための要件定義・設計	クラウドサービスを導入するうえで必要となる要件定義の進め方や、事業要件・業務要件の定義内容、システム要件の定義内容等について、講義やグループワーク等を実施した。	H24.11.5 (1日間)	11名 (11名)	18,000 円
J a v a による W e b アプリケーション構築 (基礎編)	J a v a による簡単な W e b アプリケーション (サブレットと J S P) の構築や J 2 E E 1. 4 から標準となったタグライブラリ (J S T L) の使用方法について解説・演習等を実施した。	H24.11.26 ～11.27 (2日間)	6名 (6名)	21,000 円
ネットワークセキュリティ	ネットワークにおけるセキュリティの問題を認識し、セキュリティ対策の基礎知識を学習するとともに、ネットワークにおける具体的なセキュリティ対策の方法について講義・演習を実施した。	H24.12.17 ～12.18 (2日間)	7名 (7名)	13,000 円
A n d r o i d プログラミング	A n d r o i d の最新情報とビジネスへの適用可能性を紹介するとともに、実際にパソコンを使って A n d r o i d アプリケーションの開発 (スマートフォン対応のプログラム作成) の実習や講義等を実施した。	H25. 1.15 (1日間)	5名 (5名)	15,000 円
ネットワーク運用管理実践	ネットワークの運用に係る管理・監視の手法について、概念と技術を体系的に学習するとともに、現場で活用されているネットワーク管理システムを用いた実習を通し、現場における管理の実際を解説した。	H25. 2. 4 ～ 2. 5 (2日間)	8名 (8名)	12,000 円
チームリーダーに求められる「直感力と段取り力」	困難や問題に直面したときなどに必要となる「潜在意識のひらめきによる解決法」及び仕事を成功させるための目標達成への段取りノウハウについて講義・演習を実施した。	H25. 2.14 ～ 2.15 (2日間)	14名 (14名)	11,000 円

1. 20 情報化基盤整備促進事業 (基盤整備基金事業)

【予算額：2,776千円】【決算額：2,229千円】

(1) 各企業が実践的なIT活用に関する内容を学べるeラーニングサービスの提供

ITが企業活動のツールになるよう、各職場で実践的な内容を学べるeラーニングを財団ASPサイト上で提供した。(5コンテンツ追加)

(2) 企業がIT導入の必要性を実感し実践に移すため、実践企業の事例を学ぶセミナーの開催

県内中小企業者が情報通信機器を有効に活用し、自ら情報化を推進していけるよう、IT利活用の支援に関するセミナー開催等の啓蒙普及活動や情報収集等を実施した。

○IT利活用支援セミナー

- ・開催日：平成25年1月23日（水）
- ・テーマ：企業経営者のためのIT導入のすすめ
- ・受講者数：21名

(3) 中小企業支援センターホームページの運営

中小企業支援センターホームページ（財団HP）の運営管理を行った。

2 (収1) 収益事業

2. 1 テクノプラザ愛媛及び愛媛県産業情報センター管理運営事業（県委託事業）

愛媛県から、テクノプラザ愛媛及び愛媛県産業情報センターの指定管理者の指定を受け、両施設の管理・運営を行った。

管理・運営に当たっては、施設の設置目的並びに指定管理者業務仕様書に基づき、企業等の多様なニーズに対応するとともに、利用者への広く公平なサービスの提供と安全性の確保を図ることはもとより、施設の機能を十分活かした管理・運営を行った。

テクノプラザ愛媛利用状況		
利用施設	件数	人数
テクノホール	160	15,806
一般研修室	193	5,894
OA研修室	99	1,919
特別会議室	80	1,331
一般会議室	348	7,253
小会議室	189	2,354
合計	1,069	34,557

愛媛県産業情報センター利用状況		
利用施設	件数	人数
ネットワーク研修室	7	120
会議室	76	1,552
合計	83	1,672

テクノプラザ愛媛

① インキュベート施設の概要

インキュベート・ルーム：20室 [19.74㎡～71.60㎡]

飲食業に関するインキュベート・ルーム：1室 [245.38㎡]

商談室：2室、休憩室2室（男子、女子）

② 入居企業の状況

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

入居室 番号等	入居企業名	産業分野	入居許可期間	備 考
レストラン	(株)エイトワン (飲食業に関するインキュベ ート・ルームとして、Vimiを 運営)	飲 食 業	H25. 1～H25.12	H25. 1. 1 入 居
201	Grasp Creations 戸田和義	情 報 通 信	H23. 6～H25. 5	H24. 6. 1 期間延長
202	(株)エンカレッジ	ビジネス支援	H20. 9～H25. 8	H24. 9. 1 期間延長
203	(有)上田電子開発	情 報 通 信	H24. 5～H25.4	H24. 5. 1 入 居
204	WEB TOUCH 村田大吾	情 報 通 信	H23. 2～H26. 1	H25. 1. 1 情報セン ターDから移転
205	空 室			
206	空 室			
301	(株)KEINS	E V 事 業	H24. 6～H25.5	H24. 6. 1 入 居
302	(株)KEINS	E V 事 業	H24. 6～H25.5	H24. 6. 1 入 居
303	カイゼン(株)	環 境	H24. 2～H26.1	H25. 1. 1 情報セン ターBから移転
304	空 室			
305	(株)ニーズウェア	情 報 通 信	H24. 6～H25. 5	H24. 6. 1 入 居
306	(株)夢大地	新製造技術	H23. 3～H26. 2	H25. 1. 1 情報セン ターCから移転
307	Hプロジェクト(株)	情報通信、 農 業	H24. 5～H25. 4	H24. 5. 1 入 居
308	西日本電信電話(株)愛媛支店	ビジネス支援	H 3. 4～H25. 3	H23. 5. 1 206号室 から転居
309	トリトンEVテクノロジー(株)	E V 事 業	H23. 8～H25. 7	H24. 8. 1期間延長
310	デジタル・インフォメーショ ン・テクノロジー(株)	情 報 通 信	H24.12～H25. 3	H24.12. 1 入 居
311	空 室			
317	(株)プライサー	情 報 通 信	H21. 5～H25. 4	H24.12. 1 情報セン ターGから移転
318	空 室			
319	(株)リーガル	情 報 通 信	H23. 7～H25. 6	H24. 7. 1期間延長
全21室 平成25年3月31日現在 入居企業：15社16室（入居率：54.3%/月平均）				

産業情報センター

① インキュベート施設の概要

インキュベート・ルーム：9室 [17.17㎡～123.66㎡]

商談室：1室、ミーティングルーム：1室、事業支援・相談室：1室

② 入居企業の状況

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

入居室名	入居企業名	産業分野	入居許可期間	備考
A	デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)	情報通信	H25. 3～H26. 2	H25. 3. 1 入居
B	カイゼン(株)	環境	H24. 2～H25. 1	H25. 1. 1 テクノ303号室へ移転
	デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)	情報通信	H25. 3～H26. 2	H25. 3. 1 入居
C	岩熊 裕明 (株)夢大地 H24. 10. 1 法人成	新製造技術	H23. 3～H25. 2	H25. 1. 1 テクノ306号室へ移転
	デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)	情報通信	H25. 3～H26. 2	H25. 3. 1 入居
D	WEB TOUCH 村田大吾	情報通信	H23. 2～H25. 1	H25. 2. 1 期間延長 H25. 1. 1 テクノ204号室へ移転
	デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)	情報通信	H25. 3～H26. 2	H25. 3. 1 入居
E	(株)JDI・Home s	生活文化	H23. 4～H25. 3	H24. 4. 1 期間延長 H24. 11. 30 退去
	デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)	情報通信	H25. 3～H26. 2	H25. 3. 1 入居
F	(株)アズティックソフトウェア	情報通信	H24. 8～H25. 7	H24. 9. 30 退去
	デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)	情報通信	H25. 3～H26. 2	H25. 3. 1 入居
G	(株)プライサー	情報通信	H21. 5～H25. 4	H24. 5. 1 期間延長 H24. 12. 1 テクノ317号室へ移転
	デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)	情報通信	H25. 3～H26. 2	H25. 3. 1 入居
H	デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)	情報通信	H25. 3～H26. 2	H25. 3. 1 入居
I	デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)	情報通信	H25. 3～H26. 2	H25. 3. 1 入居
全9室 平成25年3月31日現在 入居企業：1社9室 (入居率：67.9%/月平均) ※ デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)の入居に伴いI室を増室し8室から9室とするとともに、産業情報センター入居中4社にテクノプラザ愛媛への移転を要請した。 ※ 1月及び2月は、インキュベート・ルーム全面改装のため、入居率算出の対象から除外している				

(1) 情報提供業務

ホームページに県内中小企業に必要な情報を掲載するほか、国・県の施策に関するリーフレットや、各種調査の報告書等を館内に配置して、情報の提供を行った。

更に、入居者に対しては、インキュベーション・マネージャーやビジネスサポートオフィス、隣接する産業技術研究所と連携し、それぞれのニーズに応じた情報の提供に努めた。

(2) 利用促進業務

ホームページによる情報発信、施設案内パンフレットの配布、更には経済誌への広告掲載やマスコミ等への随時情報の提供などを通じ、積極的にPRした。

また、各種団体、企業、大学及び試験研究機関等の機関誌による広報や企業訪問による宣伝活動を行うほか、財団のネットワークを最大限に活用して利用の促進を図った。

(3) 施設の維持管理に関する業務

施設を適切に運営するために、日常的に施設の点検を行い、安全かつ安心して利用できるよう保全に努め、建築物等の不具合については、速やかに改善を図るとともに、清潔な景観保持に努めた。

3 (他1) その他の事業

3. 1 設備資金貸付事業（県借入金事業、県補助事業）

償還業務及び巡回指導業務を実施した。

3. 2 設備貸与事業（県等借入金事業）

償還業務及び巡回指導業務を実施した。

3. 3 機械類貸与事業(県借入金事業、県補助事業)

償還業務及び巡回指導業務を実施した。

3. 4 債務保証事業（債務保証事業基金事業）

財務整理等を含めた全業務が終了したことに伴い、事業を廃止した。

なお、基金原資の一部である国交付金は県を通じて国へ返還し、一部民間からの資金は技術振興基金に造成し、県経済の活性化のため活用することとした。

3. 5 研究開発型企业等支援事業（研究開発型企业等投資支援事業基金事業）

財務整理等を含めた全業務が終了したことに伴い、事業を廃止した。

Ⅲ 庶務概要

1 役員等の状況

21名

(内訳)	評議員	8名
	理事長	1名
	専務理事	1名
	常務理事	1名
	理事	8名
	監事	2名

評議員

平成25年5月14日現在

職名	氏名	役職名
評議員	川上 敏寛	愛媛県産業支援局長
〃	矢野 大二	松山市産業経済部長
〃	浅野 剛	松山大学経営学部長
〃	谷口 佳文	新居浜工業高等専門学校副校長
〃	長谷川 寿	愛媛経済同友会専務・事務局長
〃	是澤 一記	愛媛県信用保証協会業務統括部長
〃	矢野 巧	愛媛県市長会事務局長
〃	渡部 明忠	愛媛県町村会事務局長

任期：平成27年度開催定例評議員会終結時まで

理事等

平成25年4月1日現在

職名	氏名	役職名
理事長	森田 浩治	株式会社伊予銀行会長
専務理事	村上 哲義	公益財団法人えひめ産業振興財団総務企画部長
常務理事	杉本 譲	公益財団法人えひめ産業振興財団産業振興部長
理事	中山紘治郎	株式会社愛媛銀行会長
〃	矢田部龍一	国立大学法人愛媛大学社会連携推進機構長
〃	服部 正	社団法人愛媛県紙パルプ工業会会長
〃	平尾浩一郎	四国タオル工業組合理事長
〃	越智 仁司	愛媛県輸出縫製品工業協同組合理事長
〃	塩崎 桂	愛媛県商工会議所連合会事務局長
〃	高橋 章司	愛媛県商工会連合会事務局長
〃	高市 敦史	愛媛県中小企業団体中央会事務局長
監事	山本 泰正	愛媛信用金庫会長
〃	篠原 一志	愛媛県信用農業協同組合連合会理事長

任期 理事：平成25年度開催定例評議員会終結時まで

監事：平成27年度開催定例評議員会終結時まで

2 理事会の開催状況

開催年月日	開催場所	付議事項	議決状況
平成 24 年 4 月 24 日(火)	持ち回り	(1) 常務理事の選定について	原案議決
平成 24 年 5 月 29 日(火) 15:00~	テクノプラザ 愛媛 特別会議室	(1) 平成 23 年度事業及び決算について (2) 平成 24 年度収支予算の補正について (3) 定時評議員会の招集について	原案議決
平成 24 年 6 月 20 日(水)	持ち回り	(1) 平成 24 年度事業計画の一部変更並びに 収支予算の補正について	原案議決
平成 24 年 9 月 26 日(水)	持ち回り	(1) 平成 24 年度収支予算の補正について	原案議決
平成 24 年 12 月 5 日(水)	持ち回り	(1) 平成 24 年度収支予算の補正について	原案議決
平成 25 年 1 月 22 日(火)	持ち回り	(1) 平成 24 年度収支予算の補正について	原案議決
平成 25 年 2 月 22 日(金)	持ち回り	(1) 債務保証事業の終了並びに平成 24 年度 収支予算の補正について	原案議決
平成 25 年 3 月 19 日(火) 14:00~	テクノプラザ 愛媛 特別会議室	(1) 平成 24 年度収支予算の補正について (2) 平成 25 年度事業計画及び収支予算等について (3) 求償権の償却について (4) 研究開発型企业等支援事業の終了について (5) 資産の運用について (6) 評議員会の招集について	原案議決

3 評議員会の開催状況

開催年月日	開催場所	付議事項	議決状況
平成24年 4月16日(月)	持ち回り	(1)理事の選任について (2)評議員の選任について	原案議決
平成24年 5月10日(木)	持ち回り	(1)理事の選任について (2)評議員の選任について	原案議決
平成24年 6月12日(火) 14:00~	テクノプラザ 愛媛 特別会議室	(1)平成23年度事業及び決算について (2)平成24年度収支予算の補正について	原案議決
平成24年 6月25日(月)	持ち回り	(1)平成24年度事業計画の一部変更並びに 収支予算の補正について	原案議決
平成24年 10月1日(月)	持ち回り	(1)平成24年度収支予算の補正について	原案議決
平成24年 10月18日(木)	持ち回り	(1)評議員の選任について	原案議決
平成24年 12月14日(金)	持ち回り	(1)平成24年度収支予算の補正について	原案議決
平成25年 1月30日(水)	持ち回り	(1)平成24年度収支予算の補正について	原案議決
平成25年 2月28日(木)	持ち回り	(1)債務保証事業の終了並びに平成24年度 収支予算の補正について	原案議決
平成25年 3月27日(水) 10:30~	テクノプラザ 愛媛 特別会議室	(1)平成24年度収支予算の補正について (2)平成25年度事業計画及び収支予算等につ いて (3)求償権の償却について (4)研究開発型企业等支援事業の終了につ いて (5)資産の運用について	原案議決

4 職員の状況

平成 25 年 4 月 1 日現在

所 属	職 名	氏 名	備 考
総務企画部	部 長	村 上 哲 義	専務理事が兼務
○総務課	参事課長	村 上 哲 邦	出納員を兼務
〃	副 課 長	二 宮 厚	
〃	副 課 長	清 家 さつみ	
〃	担当係長	木 下 学	
〃	主 任	武 田 和 高	
○企画情報課	課 長	神 尾 泰 昭	愛媛県から派遣
〃	研 究 員	池 田 暁 彦	愛媛銀行から出向
○企業立地推進課	課 長	加 藤 健一	(愛媛県経済労働部企業立地課 担当係長)
〃	主 任	安 部 恭 兵	(愛媛県経済労働部企業立地課 主任)
○中小企業支援課	課 長	村 上 哲 邦	総務課長が兼務
〃	副 課 長	竹 村 宏	
〃	主 任	穴 山 和 久	
産業振興部	部 長	杉 本 讓	常務理事が兼務。愛媛県から派遣
○新事業支援課	課 長	鎌 田 正 也	愛媛県から派遣
〃	担当係長	西 川 昌 祐	
〃	主任研究員	大 川 徹	愛媛銀行から出向
〃	研 究 員	菅 正 也	伊予銀行から出向
○産業振興課	課 長	菅 匡 紀	愛媛県から派遣
〃	担当課長	秋 川 裕 一 郎	(愛媛県経済労働部産業政策課 連携支援係長)
〃	専 門 員	谷 泉 忠 幸	(愛媛県経済労働部産業政策課 専門員)
〃	専 門 員	峰 下 久 美	(愛媛県経済労働部観光物産課 専門員)
〃	専 門 員	吉 見 秀 寿	(愛媛県経済労働部労政雇用課 専門員)
〃	主 任	加 地 祐 介	愛媛県から派遣
〃	主 任	越 智 千 仁	(愛媛県経済労働部産業政策課 主任)
〃	主 任	山 本 卓	(愛媛県経済労働部産業創出課 主任)
〃	主 任	田 鍋 聡	(愛媛県経済労働部産業創出課 主任)
〃	主 任	福 田 直 大	(愛媛県経済労働部産業創出課 主任)
〃	主 任	岸 本 拓 哉	(愛媛県経済労働部産業創出課 主任)
〃	主 任	萩 原 健	(愛媛県経済労働部経営支援課 主任)
〃	主 事	薬師神 瑛里子	(愛媛県経済労働部産業政策課 主事)
〃	研 究 員	岡 山 亮 輔	伊予銀行から出向
○産学官連携推進課	課 長	亀 岡 啓	(愛媛県産業技術研究所企画管理部 担当係長)
〃	担当課長	玉 井 浩 二	(愛媛県経済労働部産業創出課 産学官連携係長)
〃	主 任	松 島 正	(愛媛県産業技術研究所企画管理部 主任)
〃	主 任	明 賀 久 弥	(愛媛県産業技術研究所企画管理部 主任)

事業報告の附属明細書

1 許認可等について補足すべき重要な事項

許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	許可等年月日	備 考
平成 12 年 5 月 11 日	愛媛県中小企業支援センター（指定）	平成 12 年 5 月 11 日	中小企業支援法第 7 条第 1 項の規定による
平成 17 年 6 月 23 日	中核的支援機関（認定）	平成 17 年 7 月 8 日	中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律第 26 条第 1 項の規定による
平成 20 年 9 月 26 日	指定管理者（テクノプラザ愛媛）	平成 20 年 12 月 12 日	愛媛県公の施設設置及び管理に関する条例第 11 条第 3 項の規定による
平成 20 年 9 月 26 日	指定管理者（愛媛県産業情報センター）	平成 20 年 12 月 12 日	愛媛県公の施設設置及び管理に関する条例第 11 条第 3 項の規定による
平成 25 年 1 月 31 日	経営革新等支援業務を行う者（認定）	平成 25 年 3 月 21 日	中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律第 17 条第 1 項の規定による